

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『医療観察法入院処遇対象者への退院時生活能力に及ぼす入院時作業療法の影響：電子診療情報を用いた後方視的研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2008年4月1日より2019年12月31日の間に当院の医療観察法病棟に入院された統合失調症の方

【研究期間】

2023年8月23日より2025年3月31日まで

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 精神リハビリテーション部 作業療法士 山元 直道

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

医療観察法での作業療法(以下、OT)介入の臨床的有用性について明らかにしていくことです。本研究の成果により、プログラム別の効果・特徴を把握し、臨床的有用性が明らかになる事で、対象者の社会復帰や退院後の再他害行為の発生を抑制するための作業療法プログラムの開発につながります。他にも、医療観察法とOTについての報告は、事例報告や質的研究が大半であり、医療観察法とOTの量的研究は日本では報告がないため新規性があります。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料:ありません

情報等:年齢、性別、精神科主診断、診断名、教育年数、入院歴、生活保護受給の有無、居住形態、職歴、単身生活の有無、IQ、入院日数、服薬量、外出・泊の回数多職種会議の回数、OT参加の回数、各作業療法の内容、機能の評価尺度(GAF)、生活能力の評価尺度(ICF)、共通評価項目

情報:カルテ診療録から入手

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 精神リハビリテーション部 氏名 山元 直道

電話番号 (042) 341-2711 e-mail:n.yamamoto※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)